

あなたも 家族経営協定を 結んでみませんか

経営方針や家族一人一人の役割、働きやすい環境作りなどについて、家族みんなで考えてみましょう。

家族経営協定とは？

農業が、魅力ある職業となり、男女を問わず意欲をもって取り組めるようにするためには、経営内において家族一人一人の役割と責任が明確となり、それぞれの意欲と能力が十分に発揮できる環境づくりが必要です。

これを実現するため、農業経営を担っている世帯員相互間のルール・取り決めを文書化したものが「家族経営協定」です。

形式にこだわらず、家族みんなで話し合いながら、あなたの経営にピッタリの協定を作りましょう。

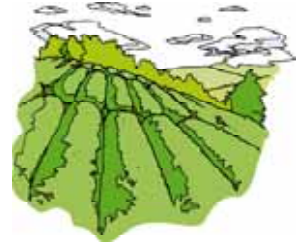


これからの認定農業者制度



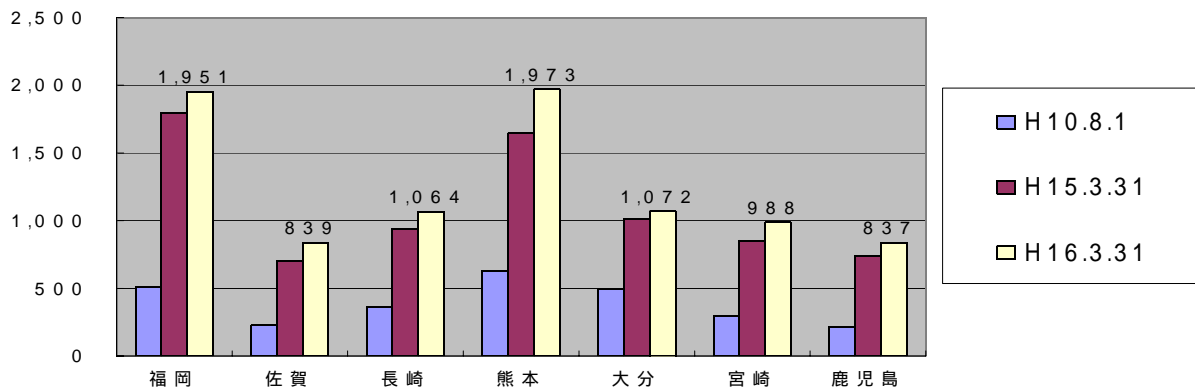
共同経営者であれば、複数の者が認定農業者になれます。

家族経営協定を締結し経営に参画している女性農業者に対しては、夫婦等による認定農業者の共同申請、農業委員会の農地の「あっせん名簿」に夫婦連名での登録、農業者年金における助成等の優遇措置が講じられています。



家族経営協定締結の状況

九州では、家族経営協定を締結する農家が増えています。



全国の販売農家に占める九州のシェアは15%程度なのに対して、家族経営協定締結のシェアは30%を占めるほどになっています。

協定の内容

協定は世帯員相互間の話し合いに基づいて取り決められるもので、その内容は画一的なものではありませんが、協定に盛り込まれることが適当と考えられるのは、次のような事項です。

- (1)目的 (2)経営計画の策定 (3)経営の役割分担 (4)収益分配 (5)就業条件
(6)将来の経営移譲 (7)その他



グループでの取り組み事例

【夫婦で経営改善、^{ふかどし}深年経営改善グループ(宮崎県国富町)】

9年、若手の農家5戸が将来の営農と生活設計を夫婦同伴で学習することを目的として「深年経営改善グループ」を結成し、グループ内で学習会を続けました。その中で情報の共有化の重要性を認識し、家族経営協定締結への準備が進められました。11年、2経営体が国富町として初めて家族経営協定を締結し、大きな注目を浴びることになりました。12年には新たに2戸の農家が加入し、7戸のグループとして活動しています。当グループの活動をきっかけに、町内他地区や隣接町においても同様の学習グループができており、経営改善の成果が現れつつあります。

耕平：家族経営協定を結んで良かったよ。独りよがりにならず、みんなで経営方針を決めるから仕事に張りが出てきた感じだな。

早苗：私も今度、女性部の集まりでみんなにも家族経営協定を勧めようと思っているの。

耕平：自分たちが結んだから言う訳じゃないけど、せめて認定農業者は家族経営協定を結んでいないと近代的な経営ができるとは言えないね。

早苗：トマト部会全員が結んだら「家族経営協定を結んで女性の視点を生かした経営をしている農家が生産したトマトです」と表示して販売できるかもね

耕平：お、経営者らしくなってきたな。



男女共同参画に関する情報は、九州農政局のホームページ「農業政策関係」コーナー (<http://www.kyushu.maff.go.jp>) に掲載しています。その他、最寄りの農業改良普及センター等へご相談ください。



農林水産省九州農政局生産経営流通部経営課
女性・高齢者係

096-353-3561 (内線4253)

〒860-8527 熊本市二の丸1-2